



額装
表装
画材

絵具屋三吉
〒231-0032
横浜市中区不老町 1-4-12
TEL 045-641-9318
営業時間 11:00 ~ 18:00
定休日 日曜・月曜

公募展・グループ展・個展への搬入・搬出から地方への梱包発送、会場設営まで美術展覧会のことは全てお任せください。

ARTON

(有)アートン

TEL 0466-48-8488

〒252-0821
神奈川県藤沢市用田 211-4
FAX: 0466-48-8488
E-mail: arton.event@gmail.com
URL: https://www.arton.events

海外展への出品もお手伝いいたします。詳しくは web で。

1987年よりバリで開催のソシエタショナルボザールへの輸出搬入代行を毎年おこなっています。バリでの個展をお考えの方、会場探しや輸出などについてはお問い合わせください。

横浜市民ギャラリー展覧会スケジュール 2020年2月～5月

2月

平成31年度 横浜市立学校総合 [全室展示]

文化祭 図画工作・美術・書道作品展

1/29～2/3 10:00～18:00 ※最終日～13:30

横浜市立小、中、高、特別支援学校の児童生徒による作品展

主催：横浜市教育局 事務局 学校教育企画部 小中学校企画課

第40回 記念 公募 静雅書展 [2階]

2/5～2/10 10:00～18:00 ※最終日～16:00

書作品（漢字、かな、近代詩文書、少字数）約120点

主催：静雅書道会

神奈川県高等学校定時制通信制 [2階]

生徒作品展

2/5～2/10 10:00～18:00 ※最終日～15:00

県内の定時制通信制に通う高校生による総合作品展

主催：神奈川県高等学校定時制教育振興会

東海大学文化部連合会写真部 校外展 [1階]

2/4～2/10 10:00～18:00 ※初日15:00～、最終日～16:00

東海大学文化部連合会写真部が毎年行っている学校外での写真展

主催：東海大学 文化部連合会 写真部

国際舞台芸術ミーティングin 横浜2020 TPAM フリンジ [地下1階]

黒沼千春「点 x 線」

2/25～3/2 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00

(上演時間 40分)

ダンスと書道を融合したコンテンポラリーダンスパフォーマンス

主催：黒沼千春

前売一般¥2,500 当日一般¥2,800

学生（前売・当日）¥2,000 高校生以下（前売・当日）¥1,000

Webサイト：https://www.chiharu-kuronuma.com/

カワイ絵画造形教室 作品展 [地下階]

2/15～2/16 10:00～17:00 ※最終日～15:00

県内のカワイ絵画造形教室生徒の作品展とワークショップ開催

主催：横浜合楽器製作所カワイ絵画造形教室

第42回 日月書道展（公募） [全室展示]

2/19～2/24 10:00～18:00 ※最終日～16:00

漢詩、和歌、俳句を題材とした伝統的正統書。大作、小作、学生書初め等

主催：日月書道会

燎の会 [3階A]

2/25～3/2 10:00～18:00 ※初日14:00～、最終日～16:00

油彩を中心にした平面作品、100号から130号を約20点

主催：燎の会

横浜国立大学教育人間科学部 [3階B]

書道ゼミ卒業制作展

2/25～3/2 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00

横浜国立大学書道ゼミ学生による臨場と創作の卒業制作約20点

主催：横浜国立大学 教育人間科学部 書道ゼミ

日本風景写真協会神奈川支部 [2階A]

第16回作品展 彩時記

2/25～3/2 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00

日本の風景をテーマにした写真展。大紙面の写真を62点展示

主催：日本風景写真協会 神奈川支部

第20回 2020年協会展 [2階B]

2/25～3/2 10:00～18:00 ※初日12:00～、最終日～16:00

表現のジャンルを越え研鑽を続けた。今回20回展

主催：2020年協会会

3月 カワイ絵画造形教室 作品展 2/15～2/16 10:00～17:00 ※最終日～15:00 県内のカワイ絵画造形教室生徒の作品展示とワークショップ開催 主催：(財)河合楽器製作所カワイ絵画造形教室 3月 第42回 日月書道展(公募) 2/19～2/24 10:00～18:00 ※最終日～16:00 漢字、かな、詩文書、篆刻、刻字部門を網羅した書の公募展 主催：和歌、俳句を題材とした伝統的正統書。大作、小品、学生書初め等 主催：日月書道会 3階A 燎の会 2/25～3/2 10:00～18:00 ※初日14:00～、最終日～16:00 油彩を中心とした平面作品、100号から130号を約20点 主催：燎の会 3階B 横浜国立大学教育人間科学部 書道ゼミ卒業制作展 2/25～3/2 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 横浜国立大学書道ゼミ学生による臨書と創作の卒業制作約20点 主催：横浜国立大学 教育人間科学部 書道ゼミ 2月 日本風景写真協会神奈川支部 第16回 作品展 彩時記 2/25～3/2 10:00～17:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 日本の風景をテーマにした写真展。大紙の写真を62点展示 主催：日本風景写真協会 神奈川支部 2月 第20回 2020年協会展 2/25～3/2 10:00～18:00 ※初日12:00～、最終日～16:00 表現のジャンルを越え研鑽を続けた。今回20回展 主催：2020年協会展
--

主催 横浜市民ギャラリーコレクション展2020 うつつ、描かれた港と水辺 2/28～3/15 10:00～18:00 港と水辺を主題に、およそ1,300点の所蔵作品の中より選りすぐった作品を展示 主催：横浜市民ギャラリー 3月 日本丸洋画同好会 第11回 作品展 3/3～3/9 10:00～18:00 ※初日13:00～、最終日～16:00 水彩、油彩、パステルなどで表現した風景、静物、人物。約50点 主催：日本丸洋画同好会 2月 浜悠書道展 3/4～3/8 10:00～18:00 佐藤祥風先生の門下生一同の書画と先生の米寿記念史200点 主催：浜悠書道会



日本画材料

横浜市中区不老町 1-4-12
TEL 045-641-9318
営業時間 11:00～18:00 日曜・月曜定休
http://www.sankichi.com





貸館担当から

横浜市民ギャラリーのアトリエを利用して みませんか

横浜市民ギャラリーの4階にアトリエがあるのを存じですか。イーゼルやカレット、机や椅子等、制作に必要な物品の貸出(有料)を行っている他、水場やモデル用着替え室も備えています。クロッキー会やワークショップなど、皆さまの創作活動の場としてぜひご利用ください。事前見学も出来ます。詳しくは、お問い合わせください。

横浜市民ギャラリーホームページからアトリエ利用可能日をチェック!
https://ycag.yafjp.org/atelier_available/

(お問合せ) 横浜市民ギャラリー Tel:045-315-2828



催し物ピックアップ

横浜美術館

最寄駅

みなとみらい線「みなとみらい駅」 JR・横浜市営地下鉄「板木町駅」

澄川喜一 そりとむくり

2020年2月15日(土)～5月24日(日)10:00～18:00 休館日：木曜日
※5月の金曜・土曜は20時まで、入館は閉館の30分前まで

戦後日本の抽象彫刻を牽引してきた澄川喜一(すみかわ・きいち/1931年生まれ)の首都圏の公立美術館で開催される初の大規模個展。最新作を含む約100点の作品・資料によって、60有余年におよぶ澄川の創作活動の全貌をあらためて回顧します。

彫刻家をこそざして東京藝術大学に進学した澄川は、塑像を中心とする具象表現の基礎を徹底的に学びました。彫刻専攻科を修了後は藝大で教職につきながら数々の作品を発表、やがて、木や石などの自然素材に対する深い洞察をへて、日本固有の造形美と深く共鳴する抽象彫刻「そり」のあるかたち」シリーズに展開します。このテーマは、今なお追究し続ける澄川のライフワークとなっています。具象彫刻にはじまり、やがて先鋭な抽象彫刻に転じつつ、巨大な野外彫刻や建築分野との協働へと創作の領域をひろげる澄川喜一の決定版ともいえる展覧会です。

[お問合せ] 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL 045-221-0300 FAX 045-221-0317 https://yokohama.art.museum/



催し物ピックアップ

横浜市民ギャラリーあざみ野

最寄駅

東急田園都市線 横浜市営地下鉄「あざみ野駅」

あざみ野フォト・アニュアル

「田附勝 KAKERA きこえてこなかった、私たちの声展」
「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 ダゲレオタイプー記憶する鏡」

2020年1月25日(土)～2月23日(日)10:00～18:00
※1月27日(月)休館
横浜市民ギャラリーあざみ野展示室1・2 入場無料

写真表現の現在を切りとる企画展と、収蔵する約1万件の「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を様々な切り口で紹介するコレクション展を「あざみ野フォト・アニュアル」として同時開催。

企画展では、縄文以来のジャーマニズムが息づく東北の風土やこの地に暮らす人々の生活や文化を掘り続けてきた田附勝が、2012年から撮影を始めた「KAKERA」シリーズを紹介する個展を開催します。

コレクション展では、写真誕生から180年を記念して、世界で最初の写真術であるダゲレオタイプをテーマに、コレクション約100点を紹介。写真がその初期においてどのように伝わり、受容されていったかを、写真、カメラ、撮影器具や関連資料を通じて探ります。

[お問合せ] 〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野南
TEL 045-910-5656 FAX 045-910-5674 http://artazamino.jp/

2020年 第43回

神奈美公募展

2020年5月20日(水)～5月24日(日) 9:00～18:00 (最終日は16:00迄)

【会場】 神奈川県民ホールギャラリー 第1・5展示室
【応募作品】 油彩、水彩、アクリル、日本画、ミクストメディア、墨絵、パステル、和紙画、版画、染・織、陶芸、ガラス工芸、創作人形、等
【応募資格】 15歳以上
【出品料】 3点まで5,000円、4点以上の場合、1点増すごとに1,000円加算。学生は3点まで2,500円、4点以上の場合、1点増すごとに500円加算。受付の時、学生証を提出(コピー可)。
2020年5月19日(火) AM9:30～11:00 県民ホール裏口受付にて。
2020年5月24日(日) PM4:00～5:00迄。
【入賞】 優秀作品には、神奈川県美術協会賞、神奈川県知事賞、横浜市長賞等と授与。
【授賞】 神奈川美術協会 事務局 〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東3-2-11 山本勝彦方 携帯TEL 090-3104-9371 http://kanabi.on.coocan.jp



ギャラリーネットワーク

市内約140の美術施設・画廊とつながっています

横浜市民ギャラリーでは定期的に情報誌を発行しています。

市内の展覧会情報や当館の企画展情報など様々な情報発信をしています。ぜひ皆様の美術鑑賞にお役立て下さい。



アートヨコハマ(年3回発行)

企画展の予告や報告、アトリエでの講座、また展示室スケジュールなど横浜市民ギャラリーの総合情報を掲載しています。2月、6月、10月に発行されます。読みものもお楽しみいただけます。

横浜画廊散歩(月1回発行)

市内の展覧会情報と横浜市民ギャラリーでの展覧会情報を毎月掲載。約1,300点の所蔵作品の中から1点を表紙にて紹介しています。

ヨコハマ・ギャラリー・マップ(年1回発行)

市内の美術施設や画廊の基本情報を地図と共に掲載しています。「横浜画廊散歩」と共にご利用いただけます。

最新号およびバックナンバーは当館ホームページからダウンロードできます。

横浜市民ギャラリーホームページから情報誌をチェック!
https://ycag.yafjp.org/magazines/



報告

「紅葉ヶ丘まいらん」5館連携イベントを開催しました

神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂。紅葉ヶ丘を中心に5つの公共施設が連携して、この秋イベントを開催しました。会期中は台風の影響もありましたが、各館で建築ツアーやイベント、スタンプラリー等を実施しました。当館では担当学芸員によるギャラリーツアーを行い、企画展「新・今日の作家展2019 対話のあとさき」を鑑賞しました。当館は今後も、地域連携事業を行っていく予定です。

横浜・紅葉ヶ丘5館連携事業 2019・秋「紅葉ヶ丘まいらん」
会期：10/10(木)～14(月・祝)
当館のイベント名と参加者数：「新・今日の作家展2019 学芸員によるギャラリーツアー」
①10/10…33名、②10/11…18名
当館で来館スタンプを押した方：57名



担当学芸員によるギャラリーツアー(原美樹子作品前にて)

担当学芸員によるギャラリーツアー(門馬美喜作品前にて)



横浜市民ギャラリー

横浜市民ギャラリーの総合情報誌
vol.67 2020年2月～2020年5月

アートヨコハマ

ART YOKOHAMA

67 2020.02-2020.05
Yokohama Civic Art Gallery
Art News Magazine

横浜市民ギャラリーコレクション展2020 うつつ、描かれた港と水辺



田中孝《窓外港 朝》1988年 油彩、キャンバス 72.7×60.8cm

横浜市民ギャラリーには、約1,300点の所蔵作品があります。これらの作品の多くは、1964年の開館以来、企画展や国際展などの機に収蔵されたものです。特に国際展の折には地元作家を中心に横浜の風景を主題として新作を依頼することがたびたびあったことから、横浜の風景を描いた作品が当館には数多く見られます。今回はその中でも、港や海、水辺を描いた作品を特集します。

横浜港をはじめ、外部との玄関口、物流の拠点である港、古くから絵画や文学で題材となってきた水辺は、人びとの生活に密着する存在、郷愁の対象の両方になり得ます。本展では横浜を中心に港や水辺をうつし描いた油彩、日本画、写真、版画など約50点をご紹介します。

横浜市民ギャラリーコレクション展2020
うつし、描かれた港と水辺
2020年2月28日(金)～3月15日(日)10:00～18:00
入場無料
横浜市民ギャラリー展示室1、B1 入場無料、会期中無休
主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜芸術文化振興財団／西田装美株式会社 共同事業体)



柳原良平《下島》1978年 ポスターカラー、紙 72.1×102.4cm



五十嵐美貴《下島の二重》1953年 ゼラチンシルバープリント 47.6×31.9cm



木村二《横浜港》1988年 油彩、キャンバス 91.0×116.0cm

●ワークショップ
「木版画摺り体験 摺りであらわす水辺の情景」
2月29日(土)14:00～16:00
講師：関澤一(横浜美術館主幹エデュケーター)
会場：4階アトリエ 定員：20名
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
参加費：500円
申込：ホームページの申込フォームもしくは直接来館
申込締切：2月14日(金)

●学芸員によるギャラリートーク
3月7日(土)14:00～14:30 申込不要、参加無料
●鑑賞サポーターによるトーク
3月8日(日)、14日(土)午後 申込不要、参加無料
●横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー
3月8日(日)10:30～11:30 定員：10名
対象：小学3～6年生 参加無料
申込：ホームページの申込フォームもしくは直接来館
申込締切：2月18日(火)



西村建子《横浜港》1988年 カラー・プリント 36.5×54.5cm



三橋兄弟治《港にて》1940年 水彩、紙 57.0×74.7cm



萩原英雄《港風景》1988年 木版 60.9×46.4cm

特別展示

横浜出身の日本画家・牛田雞村の《蜑船の泊》(ともに「蟹港二題」より)、『関内』(いずれも1926年作)を久しぶりに3点同時に展示します。日本画を制作した期間の短い作家の貴重な作品です。絹に描いた繊細な絵画や開港期の浮世絵等に取材した当時の風物をお楽しみください。(本頁下「横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち」をご覧ください)

コレクション展では鑑賞サポーター(ボランティア)が活躍します!
当館のコレクション展では、毎年鑑賞サポーター(ボランティア)のみなさんが活躍しているをご存知ですか?鑑賞サポーターの活動は、現在の3代目横浜市民ギャラリーに移転後、2017年から始まり、今年度で4回目となります。毎年参加メンバーを募り、コレクション展が始まる前の年明け1月から約2ヶ月にわたって研修を実施。作品や作家について調べて理解を深め、出品作品の目録紹介文の執筆やギャラリートークを担当してきました。これまでに13歳以上の幅広い年齢層の方がメンバーとして参加し、それぞれの経験をもとに、鑑賞サポーターならではの視点で当館の所蔵作品の魅力を見出し、来場者に伝えています。今年度も、鑑賞サポーターが作品鑑賞に役立つ会場パネルやトークを通して、来場者のみなさんと当館コレクションをつなぎます。どうぞご注目ください!



昨年度の「鑑賞サポーターによるトーク」

横浜市民ギャラリーゆかりの作家たち vol.17 牛田雞村

牛田雞村(本名:治)は、1890(明治23)年、横浜市中区南仲通に生まれた日本画家です。松本楓湖の安雅画塾で絵を学び、巖画会や紅児会に出品次第に頭角をあらわしました。1913年頃から同門の連水軒舟や小茂田青樹とともに横浜の実業家・原三溪(本名:富太郎)より援助を受け始め、1914年からは再興された日本美術院に参加しました。また同門の先輩・今村紫紅が中心となり御舟、青樹、富取風堂らとともに結成した赤曜会に参加。紫紅が急逝する1916年までの2年間、写生や研究、展覧会など活発な活動をおこないました。雞村は1946年の院展出品を機に画壇を去ったため、残っている日本画作品は多くはありません。その中で1926年の第13回再興院展に出品した本作《蜑船の泊》、《蟹港二題》(ともに「蟹港二題」)、そして《関内》(以上3点横浜市民ギャラリー蔵)は代表作と言ってよいでしょう。3点はいずれも1923年の関東大震災で壊滅した横浜を眼にした雞村がかつての横浜に思いを馳せて描いたと言われており、長く市長公舎に飾られています。3点は「横浜市民ギャラリーコレクション展2020 うつし、描かれた港と水辺」(2020年2月28日～3月15日)で特別展示されます。



牛田雞村《蜑船の泊》(「蟹港二題」より)1926年 絹本着彩 62.1×112.9cm

ハマキッズ・アートクラブ

2019年1～12月

ハマキッズ・アートクラブでは、幼児・児童を対象に、「自分で考えて、自分でつくる」造形講座をおこなっています。2019年も4階アトリエで9回の講座を開催し、たくさんの子どもたちが参加してくれました。

親子講座は、幼児と保護者が一緒に協力して楽しむ講座。そして年長さん以上になると、子どもたちが「どうしたいか」を自分で考えて決め、造形に取り組みます。最後まで自分の力でがんばって作品が完成すると、とってもうれしい!「上手に作品をつくること」よりも、その過程での経験により自立心を育てむことをハマキッズ・アートクラブは大切にしています。2020年もどうぞお楽しみに。

※2020年4月からの講座は3月下旬にチラシやホームページでお知らせする予定です。

- 1 「フェルトで動物をつくろう」1/27 講師:大竹美佳 小学4～6年生:16名
- 2 「スーパーカーをつくろう」2/17 講師:三ツ山一志 年長:21名
- 3 「土粘土であそぼう」4/21 講師:横田佳子 年少～年長と保護者:19組37名
- 4 「えのぐであそぼう」5/18 講師:山田佐映子 年少～年長と保護者:18組34名
- 5 「フェルトでつくろう」6/8 講師:宇田川純子 年長:12名
- 6 「ダンボールでつくろう!100かいたでのい」7/13 講師:いらいとしお 小学1～6年生:45名
- 7 「トートバッグに絵を描こう」8/24 講師:やまゆりの 小学1～3年生:21名
- 8 「バイオリンをつくろう」11/3 講師:三又治彦 小学4～6年生:28名
- 9 「油絵に挑戦!」12/14 講師:東麻奈美 小学4～6年生:24名
- 10 「スーパーカーをつくろう」12/21 講師:三ツ山一志 年少～年長と保護者

※台風19号の影響のため10/12より代替開催



ダンボールでつくろう!100かいたでのい



土粘土であそぼう



バイオリンをつくろう

大人のためのアトリエ講座

2019年4月から6月の大人のためのアトリエ講座では、4つの講座を開催しました。「人体を描くークロッキーとデッサン」は、鉛筆や木炭、コンテ、パステルによる表現の違いや人体のとらえ方など描画の基礎を学びながら、さまざまな人体ポーズを描きました。「中世ヨーロッパの絵画技法でつくる羊皮紙の葉」では、紀元前からヨーロッパで紙の代用品として使われてきた羊皮紙にインクと絵具で文様を描き、オリジナルの葉をつくりました。「油絵を描く」は、石膏像や植物、果物、瓶などをモチーフに、F15号の大きなキャンバスに向かって、じっくり時間をかけて油絵を描きました。「親が知っておきたい“おえかき”の楽しみ方」では、家でお絵かきの方法やクレヨン選び方、実際に親子で絵を描きあそびを楽しみました。バラエティに富む内容の講座に幅広い層の方々が参加し、それぞれ創作活動を体験しました。

※2020年4月からの講座は3月下旬にチラシやホームページでお知らせする予定です。

- 1 「人体を描くークロッキーとデッサン」4/18、4/25、5/2、5/9 講師:清野晃代 24名
- 2 「中世ヨーロッパの絵画技法でつくる羊皮紙の葉」5/12 講師:上野淑美 17名
- 3 「油絵を描く」5/17、5/24、5/31、6/7、6/14 講師:椿曉子 12名
- 4 「親が知っておきたい“おえかき”の楽しみ方」5/30 ②6/27 講師:横田佳子 ①28名 ②38名



人体を描くークロッキーとデッサン



中世ヨーロッパの絵画技法でつくる羊皮紙の葉



親が知っておきたい“おえかき”の楽しみ方

新・今日の作家展2019 対話のあとさき

今日の「対話」のかたちを問う

「新・今日の作家展2019」では、「対話のあとさき」を副題に国内外で活動する新進および中堅の4作家により構成し、計48作品を展示しました。

鎌田友介さんは、日本家屋をテーマとするプロジェクト「The House」を進行する過程で、韓国とアメリカで制作された映像、現地で収集した木材や資料によって展示を構成し、今日まで続く歴史的事象にアクセスするためのプラットフォームを提示しました。原美樹子さんは、2009年から2019年までの間に撮影した匿名性の高いスナップ写真およそ40点を選び、写真を見る人の記憶や感情に触れるようなイメージを並置することによって、来場者の対話を誘発しました。ユニット守章は、双子という身近な他者である兄弟の間の距離感や、関係性をテーマに「音」によるインスタレーションを展開し、二人の対話が来場者に繋がっていくような体験の場を生み出しました。門馬美喜さんは、東京都と故郷・福島県相馬市にそれぞれ構えているアトリエを定期的に往復し、刻々と変化する風景と対話しながら描いた作品を展示し、東日本大震災をはじめとする出来事に向き合い続ける視点をもちました。

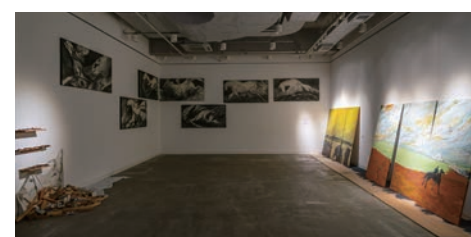
関連イベントでは、各出品作家とゲストによる対談および鼎談をおこない、建築、写真、現代美術といった各分野の専門家を招き、出品作家の活動や作品、展覧会について理解を深める機会になりました。門馬さんが講師となり作品の素材としても使用している木材を活用したワークショップでは、子どもから大人までが参加し、創作活動を楽しみました。



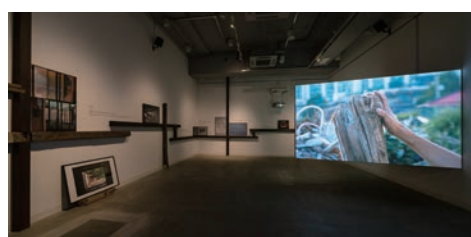
原美樹子《Kyrie》2009-2019年 展示風景 photo:Ken KATO



守章《AM(Dayzzz) Verycag》2019年 展示風景 photo:Ken KATO



門馬美喜《右から》《原町火力発電所》2019年、《相馬共同火力発電所》2019年、《千年前の川を渡る馬》2017/2019年、《Route101 相馬/横浜》2019年 展示風景 photo:Ken KATO



鎌田友介《The House》2019年 展示風景 photo:Ken KATO



対談「対話のプラットフォームとしての美術、建築」右から、五十嵐さん、鎌田さん



対談「時の厚み、時の手触り」「スナップショット」に託すもの」右から、倉石さん、原さん

【展覧会データ】
新・今日の作家展2019 対話のあとさき
2019年9月20日(金)～10月12日(土)23日間 10:00～18:00
横浜市民ギャラリー 展示室1-B1 出品点数:48点
展覧会入場者数:4,114名+関連事業参加者266名=合計4,380名

【関連イベント】
対談「対話のプラットフォームとしての美術、建築」
鎌田友介×五十嵐太郎(建築史・建築批評家/東北大学大学院教授)
9月21日(土)15:00～16:30 会場:4階アトリエ
対談「時の厚み、時の手触り」「スナップショット」に託すもの
守章(守章美喜+守章美喜)×岡村恵子(東京都写真美術館学芸員)
9月28日(土)15:00～16:30 会場:4階アトリエ
鼎談「二核的な同一主体の隔たりについて」
守章(守章美喜+守章美喜)×岡村恵子(東京都写真美術館学芸員)
10月6日(日)15:00～16:30 会場:4階アトリエ
ワークショップ「建築廃材で木製ブックスタンドをつくる」
講師:門馬美喜
10月5日(土)14:00～16:00 会場:4階アトリエ
学芸員によるギャラリートーク
9月29日(日)14:00～14:30 会場:展示室1、B1
主催:横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜芸術文化振興財団/西田装美株式会社 共同事業体)
助成:公益財団法人花王芸術・科学財団、芸術文化振興基金



鼎談「二核的な同一主体の隔たりについて」右から、岡村さん、守章(守章美喜さん、守章美喜さん)



ワークショップ「建築廃材で木製ブックスタンドをつくる」門馬さんと参加者の皆さん



横浜市民ギャラリー
〒220-0031横浜市西区宮崎町26-1
TEL 045-315-2828 FAX 045-315-3033 https://ycagyaf.jp/org/
10:00～18:00(入場は17:30まで)毎月第3日曜日・年末年始休館
f https://facebook.com/ycag1964 @ycag1964

電車
●JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩10分 ※紅葉橋交差点を過ぎて左斜め①の道を進みます。
●京急「日ノ出町駅」から徒歩8分 ※野毛坂交差点を戸部方面に右側歩道を進み②の坂道を上がります。

バス
●市営バス103-292系統「戸部1丁目」から徒歩2～4分
(横浜駅方面から103系統に乗り、戸部1丁目下車すると徒歩2分)
●市営バス89系統「野毛坂」から徒歩4分
●市営バス8-26-58-101-105-106系統「紅葉坂」から徒歩7分

ご利用ください 送迎車サービス
桜木町駅⇄横浜市民ギャラリーを無料で巡回
おからの不自由な方、高齢者に配慮した無料送迎サービスです。
車いすのまゝ、ご乗車可能です。定員9名と限りはございますが、
どなた様でもご利用いただけます。ぜひご利用ください。
平成30年度は、年間4万人以上の方にご利用いただきました。



JR桜木町駅東口タクシーのりば付近から出発 ※上記地図をご覧ください。

【送迎車時刻表】 JR桜木町駅発		横浜市民ギャラリー発	
9	45▲	10	10▲ 30▲ 50▲
10	00▲ 20▲ 40▲	11	10▲ 30▲ 50▲
11	00▲ 20▲ 40▲	12	10▲ 30▲ 50
12	00▲ 20▲ 40	13	10 30 50
13	00 20 40	14	10 30 50
14	00 20 40	15	10 30 50
15	00 20 40	16	10 30 50
16	00 20 40	17	10 30 45●
17	00 20 40	18	00●

※火曜日は展示作業日のため▲印の運行がありません。
※月曜日は、第3日曜日前日の日曜日は撤去作業日のため●印の運行がありません。
※横浜市民ギャラリー主催の展覧会開催中は、曜日を問わず全ての便を運行します。
※第3日曜日、年末年始は休館日のため運行がありません。また、展示のない日も全便運休です。
※交通事情、天候、施設状況等により運行が変更になる場合があります。